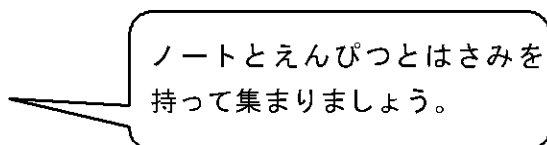


# こんな子、いませんか？

- 「え？」 「なに？」 と聞き返しが多い



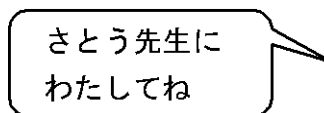
- 言われたことを覚えられない、すぐ忘れてしまう



- 読み書きが苦手、漢字の書き取りなどで間違いやすい



- 聞き間違いが多い、言われたことを何度も確認する



- 呼びかけても気が付きにくい、特にザワザワしたところでは気が付かないことが多い

もしかすると その子は  
「きこえ」に教育的支援が必要かもしれません  
中軽度の聴覚障がいにご理解を

「きこえ」に関するご相談を受け付けています  
岐阜県立岐阜聾学校  
きこえとことばの支援センター

# 中軽度の聴覚障がいにご理解を

## 1 中軽度の聴覚障がいとは・・・

- 聴力が50 dB～70 dBの方を中度難聴といいます。  
普通の会話が聞き取りにくく、グループでの話し合い活動などが難しくなります。
- 聴力が25 dB～50 dBの方を軽度難聴といいます。  
小声での会話が聞き取りにくく、「さ」行や「は」行の音を聞き間違えたりします。
- 聴力は正常に見えても、高い音だけが聞こえにくい障がい（高音急墜型難聴）、聞こえた音を理解したり覚えたりすることが難しい障がい（聴覚情報処理障がい）もあります。

## 2 中軽度の聴覚障がいの「きこえ」と「ことば」

### ①「きこえ」について

中軽度の聴覚障がいは、「きこえにくい」障がいです。そのために、周囲は気づきにくく、本人もあまり意識していなかったりすることがあります。しかし、少し情報の足りない状況が続くことで、生活や学習などに困難さが生じてきます。例えば・・・

- 教室内でグループに分かれて話し合いをする時、隣のグループの話し声に邪魔されて自分のグループの人の声が聞き取れなくなります。
- 母音や「ま」行「ば」行などの音は聞こえるので大体は分かりますが、「さ」行や「は」行などの子音は聞き取れないことが多いので、聞き間違いをします。



### ②「ことば」について

私たちは、聞いたことばを聞いたとおりに覚えます。自分の発音した声を聞きながら修正しています。それで、例えば高い音が聞こえにくい場合、「さかな」が「あかな」と聞こえ、「あかな」と覚え、「あかな」と話す、というようなことが起きてしまいます。全体に聞こえにくい場合には、ことばを覚えにくくなります。

## 3 中軽度の聴覚障がいへの支援

「きこえにくさ」に対する支援として、座席を工夫する、雑音を減らす、視覚的な手がかりを効果的に使う、補聴器などの機器を用いる、などといった方法があります。座席の工夫や雑音を減らすなどの支援は、どの子にも共通したものです。しかし、機器を用いた支援については、一人一人の聞こえ方に合わせるため、専門家と相談することが必要です。

聾学校では、「きこえ」に関する専門家が、随時相談を受け付けています。

「きこえ」や「ことば」に関する相談は

岐阜県立岐阜聾学校

きこえとことばの支援センター

TEL：058-271-3733

FAX：058-271-3705

お気軽にご相談ください。

相談のための費用は無料です。